

平成29年4月29日（土）13：30～

平成29年度PTA総会あいさつ

秋田県立本荘高等学校 校長 今井 智幸

### 学校と家庭、地域等が連携・協働してこそ

昨日、所用で訪れた大仙市、仙北市は、桜がまさに満開と咲き誇っていましたが、ここ由利本荘市は新緑がさわやかさと生命感を感じさせる時節となりました。

本日は、小雨が降り寒さも若干感じられる中、しかもせつかくの祝日の日にもかかわらず、このように多くの保護者の方々のご出席を賜りました。本当にありがとうございます。また、日頃、本校の教育活動には、特段のご理解とご協力をいただいております。改めて、感謝申し上げます。

今年度の本校の教育方針の二つの柱は、

- 1 教育活動全体を通じて、未来を切り拓く人間力や社会に貢献する人材を育成する
- 2 キャリア教育の充実の下、志高く自己実現を果たそうとする態度を育成する

となっています。

囲碁の世界のトップ棋士や将棋の名人に勝利し、日進月歩の進化を遂げる人工知能の産業や社会への影響に象徴されるように、これからの時代は、変化の激しい時代とされています。子どもたちは、未来をたくましく生き抜き、切り拓いていく力が求められています。

また、本校は、「キャリア教育実践モデル校」として三年目を迎えます。保護者皆様もご存じのとおり、キャリア教育とは、生徒の将来の社会的・職業的自立を支援する教育活動のことです。本校の教育方針を具現化するためのテーマは、「未来へのまなざしが、今を輝かせる」です。本校生の一人ひとりが未来を見据え、たくましくしなやかに生きる力の基盤となる「確かな学力」や「豊かな人間性」を培うことができるよう、生徒・教職員一丸となって、勉学、生徒会行事、部活動等、日々の教育活動に取り組んでいるところです。特に、成功体験ばかりでなく、若き日の失敗や挫折をも、未来に生かせるよき体験として、豊かな人間力へとたくましく変換していく態度、あるいは、将来の自己実現のために日々努力を継続できる態度こそが、実は、多感な青春期の“今”を輝かせる、そんな思いもテーマには込められています。

学校が、ご家庭や地域社会等と連携・協働を図る時、子どもたちはすこやかに成長を遂げていきます。家庭教育は、これからの未来を支える子どもたちへの“大切な贈り物”とされています。子どもは、家族のふれ合いを通して、基本的な生活習慣や人に対する信頼感、豊かな情操、基本的倫理観、あるいは自尊心や自立心等を身に付けていきます。

今後とも、生徒一人ひとりが将来、社会的に自立し、ふるさと秋田をはじめ、様々な分野で活躍し、社会に貢献できるよう、日々の教育活動に取り組んで参ります。これまでと変わらないご理解とご支援をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。